

大阪市立美術館開館80周年記念展

こちゅうのてん 壺中之展—美術館的小宇宙

Celebrating 80 Years of Osaka City Museum of Fine Arts | Universe of The Art Museum

2016年11月8日(火) — 12月4日(日)



1



2



4



5



3



6

壺の中には別天地——、『後漢書』方術伝に載るこの有名な故事になぞらえて、80周年を迎えた今秋、本館コレクションと寄託品による「壺中之展」と題した展覧会を開催します。かの主人公のように我々が入り込む壺とは、個々に作品世界をもった美術品、あるいはそれらが組み合わされて織りなす展示空間、ひいては展示の場である美術館です。

大阪市立美術館は1936年(昭和11)5月1日に天王寺の地に誕生しました。開館以来、購入・受贈によって築かれたコレクションは日本・東洋美術を中心としており、その総数は今日約8400件をかぞえ、そのなかには国内外から高く評価される名品も数多く含まれています。また、関西の中核美術館として近隣の寺社などから多くの文化財をお預かりしており、それらの保存・研究はもちろん、展示公開することも美術館の重要な使命です。

本展では、大きく六章に分け、多彩なテーマを設けて作品の魅力をもよりわかりやすくお伝えします。コレクション第一号として記念碑的な作品である橋本関雪「唐犬」、修復完了後初披露となる葛飾北斎「潮干狩図」(重要文化財)をはじめ、館藏品と寄託品の中から、国宝・重要文化財を含む選りすぐりの逸品を一挙にご紹介いたします。

美術館に一步踏み入れてみれば、美術のもつ魅力に溢れた小さな宇宙が広がっている——。開館80周年を記念する本展に、是非ご来場ください。

(森橋なつみ)

1. 橋本関雪 唐犬(右扇) 昭和11年(1936) 本館蔵
2. 青磁象嵌 葡萄童子文瓢形水注 高麗時代・12-13世紀 本館蔵(広田松繁氏寄贈)
3. 尾形光琳 燕子花園 江戸時代・18世紀 本館蔵
4. 石造菩薩交脚像龕 北魏時代・5世紀後半 本館蔵(山口コレクション)
5. [伝]李成・王曉 読碑窠石図 元時代・14世紀 本館蔵(阿部コレクション)
6. 銀鍍金透彫 宝相華文経箱 南北朝時代・14世紀 本館蔵(田万コレクション)

◆展示構成

第1章 美術館小史	第1～2室「美術館とコレクション」
第2章 美術鑑賞入門	第3～4室「かたちをたのしむ ^{はまる ツボ} 8・0・壺」
第3章 日本美術	第5室「桃山人—肖像画レクイエム」 第6室「洗練華麗の極み」 第7室「爛熟の江戸文化」 第8室「文人趣味と中国への憧れ」
第4章 中国美術	第9室「書韻画情」 第10室「雕刻時光」
第5章 仏教美術	第11～12室「尊キモノ」
第6章 近代美術	2階回廊「想い出のおおさか」

◆関連イベント

【ギャラリートーク】

会期中の毎土曜・日曜、午前11時から30分程度。各室の展示テーマ(毎回異なる2～3室)について、担当学芸員が見どころをご案内します。

【秋季連続美術講座】

全8回開催。詳しくは本誌裏面(インフォメーション)をご覧ください。